

# 市道(仮称)白石中央工業団地線電線共同溝詳細設計業務特記仕様書

## 第1章 総則

### 1-1 適用

1 本業務仕様書は「市道(仮称)白石中央工業団地線電線共同溝詳細設計業務」(以下「本業務」という)に関して必要な事項を定めるものであり、本業務は仕様書に従い履行するものとする。

### 1-2 履行期間

1 履行期限は下記の通りとする

自：契約締結の日 から 至：令和7年3月31日まで

2 業務執行

本業務遂行にあたっては発注者と十分な連絡協議を図り、精度の保持に留意し、良心的かつ正確に執行し、手戻りのないよう十分注意すること。

受注者は、工程に変更が生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

受注者は、当該地区の関係者と不要な摩擦を起こさぬよう適宜処置を講じて作業の実施にあたること。

### 1-3 業務対象範囲

1 本業務の対象範囲は、市道(仮称)白石中央工業団地線(以下「工業団地線」という)片側 L=740mを対象とする。

### 1-4 秘密の保持

1 本業務において知りえた秘密は、第三者に漏らしたり、公言してはならない。

### 1-5 成果品

1 成果品については、次のものを提出すること。

① 電子媒体

② 紙媒体(図面を含む報告書)

2 成果品の部数及び大きさ等については、事前に発注者と打ち合わせを行うこと。

3 成果品は、発注者の所有物とし、発注者の指示を受けないで他に公表、貸与、使用等してはならない。

## 1-6 部分引渡し

- 1 下記の業務区分において令和5年度業務分として指定した部分については、令和7年3月21日まで完了させ先に指定部分について完了検査を受けること。

### ① 業務区分

令和5年度業務分		令和6年度業務分	
業務種別	区分	業務種別	区分
電線共同溝 (C・C・BOX) 詳細設計 全体設計	設計計画	電線共同溝 (C・C・BOX) 詳細設計 全体設計	数量計算
	現地踏査		地上部設計
	設計条件の整理検討		施工計画
	平面縦断線形設計		照査
	管路部設計		報告書作成
	特殊部設計		管路部詳細設計
	関係機関との協議用資料作成	特殊部詳細設計	
関係機関打合せ 協議	関係機関打合せ協議	電線共同溝 (C・C・BOX) 詳細設計 各部計算	地上機器部詳細設計

## 1-7 疑義の解釈

- 1 本業務に定める事項について疑義を生じた場合、または、本業務に定めのない事項については、発注者、受注者の協議によるものとする。

## 第2章 業務内容

### 2-1 業務の

#### 目的

本業務は、無電柱化を推進するために電線共同溝の詳細設計を行うものである。

本業務において、受託者は施工計画の検討において、工業団地線(道路本線)の施工時期は元より、道の駅整備事業の施工時期など、関連する各種事業の施工計画と整合を図ることに充分留意し、共同溝埋設工事に手戻りが出ない様に関係事業と密に協議連絡を取り合い、より精度の高い効果的な施工計画を作成すること。

また、入溝予定の電線管理者との調整・協議を踏まえ、経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。

### 2-2 設計内容

本委託の主な業務内容は、下記のとおりとする。

#### 1 設計業務

##### (1) 電線共同溝詳細設計

##### 1) 設計計画

業務の目的及び業務内容を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務概要、実施方針、業務工程、業務組織計画、連絡体制、打合せ計画、成果品の内容、使用する主な基準等について業務計画書(照査計画書を含む)を作成する。

## 2) 現地踏査

設計範囲における状況（建築物、他道路、排水系統、用地境界、地形など周辺状況、歩道整備状況、路上施設、現況歩道利用状況、自転車歩行者の通行状況、道の駅等周辺の事業等）と貸与資料との整合性を目視により確認し、詳細設計に必要となる現地状況を把握・確認するものとする。

## 3) 設計条件の整理・検討

設計図書に示す事項及び貸与資料等を把握のうえ、現地踏査等に基づき設計条件および設計上の基本事項の整理・検討を行うものとする。

〈主な検討項目〉

- ① 資料の収集・整理
- ② 電線共同溝収容物件の収容計画
- ③ 構造形式及び区間の設定
- ④ 管路部の配列、特殊部の配置位置の設定
- ⑤ 平面、縦断線形の設定
- ⑥ 管路部、特殊部及び仮設構造物の設計断面、条件の設定検討
- ⑦ 細部条件（付属物等）検討
- ⑧ 道路・交通・沿道状況の検討
- ⑨ 各種関連事業計画との整合性の検討
- ⑩ 施工計画検討

## 4) 平面・縦断線形設計

管路部、特殊部、地上機器部及び仮設構造物における平面及び縦断的に連続する部分の設計を行う。設計にあたり、他埋設物へ影響が生じるような場合には関係機関との協議・調整を行いながら、設計を進めること。この設計には、土工、道路付属物、舗装の撤去、仮復旧を含むものとする。

## 5) 数量計算

設計及び施工条件を考慮した数量計算を実施し、数量計算書を作成するものとする。

## 6) 管路部設計

管路部の詳細な設計を行うものとする。また、関係機関との協議、調整結果を適正に反映しているか確認するものとする。

## 7) 特殊部設計

特殊部について、詳細な設計を行うものとする。また、関係機関との協議、調整結果を適正に反映しているか確認するものとする。

## 8) 地上機器部設計

地上機器部について詳細な設計を行うものとする。また、関係機関との協議、調整結

果を適正に反映しているか確認するものとする。

9) 施工計画

施工計画にあたって交通処理、施工方法、施工順序、仮設計画、仮設備計画、工程、支障埋設物件の有無等を検討し、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画書を作成するものとする。

10) 関係機関との協議用資料作成

本業務における関係機関との協議資料を作成すること。

11) 詳細設計各部計算

本業務の遂行にあたっては、設計条件等より応力計算が必要と判断される各部について各部計算を行う

- ・ 管路部
- ・ 特殊部
- ・ 地上機器部

12) 照査

本業務における設計を照査すること。

13) 報告書作成

報告書の作成にあたっては、図や表を用いて、分かりやすい表現に努め、業務内容の取りまとめを行うこと。

2-3 設計条件

業務内容の条件等については下記のとおりとする。

項目	条件等
<b>【設計業務】</b>	
電線共同溝詳細設計	設計延長 : 740m (片側) 対象地域 : 市街地以外 予備設計成果 : なし 応力計算ケース数 : 1 ケース
打合せ	業務着手時、中間打合せ 1 回、成果物納入時 (計 3 回)
関係機関打合せ協議	2 機関
その他	地下埋設物試掘調査、地質調査は業務対象外 歩道等の景観を考慮した設計は行わない

2-4 使用する主な図書および基準

本業務の履行に際し、使用する主な図書及び基準等については下記に示す。

- ・ 共通仕様書 (宮城県土木部 令和 4 年 1 0 月以降)
- ・ 電線共同溝整備マニュアル (案) (東北地方無電柱化協議会 令和 2 年 3 月)
- ・ その他関連図書

なお、使用する主な図書及び基準は業務計画書に記載し、調査職員の確認を受けること。

## 2-5 貸与資料

本業務の履行に際し、下記の資料を貸与するものとする。

- ・ 測量成果(現況図等)
- ・ 市道（仮称）白石中央工業団地線道路詳細設計成果
- ・ 地下埋設物関連資料
- ・ 参画事業者配線計画資料
- ・ その他、本業務の履行に際し必要と認めるもの。

# 参 考 明 細 書

令和 6 年度

# 実 施 設 計 書

白石市  
作成日 令和6年12月16日

決 裁	市 長	副 市 長	部 長	課 長	室 長	主 幹	係 長	係	設計者	
業 務 名	市道(仮称)白石中央工業団地線電線共同溝詳細設計業務									
業 務 場 所	白石市大平中目 地内									
業 務 概 要	1 電線共同溝詳細設計 740m									
履 行 期 間	自 令和 6 年 月 日 至 令和 7 年 3 月 31 日									



名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
《業務内訳書》						
【直接業務費】						
1. 電線共同溝(C・C・BOX)詳細設計 全体設計	設計延長 L=740m	1	箇所			別紙 第1号明細書
2. 電線共同溝(C・C・BOX)詳細設計 各部計算		1	式			別紙 第2号明細書
3. 打合せ	中間打合せ:1回	1	業務			別紙 第3号明細書
4. 関係機関打合せ協議		2	機関			別紙 第4号明細書
計						
【直接経費】						
1. 電子計算機使用料		1	式			
2. 電子成果品作成費		1	式			
3. 旅費交通費		1	式			
計						
【その他原価】		1	式			
【一般管理費等】		1	式			
計						
合 計					-	
改め計					-	0







